



令和6年度 卒業証書授与式

3月19日(水)、北村村長様をはじめ多くの御来賓の皆様にご列席いただき、卒業証書授与式が行われました。保護者の皆様、地域の皆様、1年間青木中学校の教育をお支えいただき、ありがとうございました。また、これからも引き続き、温かく見守ってください。よろしくお願いたします。



答辞より

だんだんと春の訪れを感じはじめた今日、私たち32名は卒業を迎えることができました。本日は、私たち卒業生のために、このような素晴らしい卒業式を挙行していただき、誠にありがとうございます。ご臨席くださいました北村村長、杵掛教育長をはじめ、ご多用の中ご出席くださった皆様に、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

中学校生活への期待と不安の入り混じるなか登校した、3年前の春。あの日から気づけばもう月日が経ち、私たちは今、大きな節目を迎えています。今日が最後の登校だと考えると、とても寂しく感じます。振り返ると、仲間とともに過ごし、充実したかけがえのない3年間でした。

1年生のハヶ岳登山では、美しい自然や、きれいな空気、苦勞して山頂に立った喜びを、存分に味わいました。

2年生の職場体験学習は、働くことの意味や大変さを、身をもって感じ、将来のことについて考える機会となりました。退会式は、生徒会を引き継いで初めての行事でした。慣れない中で苦勞が多く、失敗もありましたが、みんなで協力して作り上げた達成感を得ることができました。

3年生の修学旅行。みんなで一からプランを考え検討して決めた北陸旅行は、能登半島地震の影響から断念し、急遽、関西方面に変更しました。新たな計画や準備は大変でしたが、先生方や旅行会社の方のおかげもあり、中学最後にふさわしい、学びの多い充実した修学旅行となりました。

また、こまゆみ祭では、「十人十色～輝～」をテーマに、夏休み前から劇の練習や、ステージバック製作等に取りかかり、全員で協力し合い、作り上げてきました。自由発表と、全校製作を取り入れたステージバックでは、一人ひとりの個性を大事にすることを意識しました。前例のない活動でしたが、素晴らしい文化祭にすることができました。3年生みんなが同じ目標に向かって、自分の役割に責任をもって取り組み、仲間と協力し合い成し遂げることの喜びを味わうことができ、クラスの団結力も強まりました。

今年度、数々の新しい挑戦をしてきた中で、先生方は、私たちの意見、要望を聞き、活動できる環境を整えてくださいました。そのおかげで、ジェンダーレス制服、自由発表、体育祭、委員会再編などの活動を良い形で行うことができました。また、進路などで不安を抱え悩んでいる時には、親身になって相談に乗ってくださいました。常に私達の意見を尊重し、多くの場面で支えてくださった先生方には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

また、いつも私達の目標であった先輩方、新しい活動にも協力的に参加し、盛り上げてくれた後輩たち。温かく見守ってくださっていた地域の皆様方、本当にありがとうございました。

最後に、お父さん、お母さん、家族のみんな、15年間育ててくれてありがとうございました。毎日美味しいご飯を作ってくれたり、送り迎えをしてくれたりなど、常に支えてもらっていました。また、悩んでいる時には寄り添い、話を聞いてくれて、とても心強い存在でした。家族の支えがあったから私は今、これから先の未来に希望をもち、前を向いて歩出すことができます。この先もたくさん迷惑をかけるかもしれませんが、ずっと見守っててください。

最後になりますが、これまで私達を支えてくださった全ての方々に感謝を申し上げるとともに、青木中学校の益々の発展と、皆様のご多幸を心から祈念して、答辞といたします。

令和7年3月19日
卒業生代表 竹森柚月



学校長式辞より

32名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが今日手にした卒業証書は、皆さん一人一人の三年間の努力と成長の証です。共に歩んできた仲間、そしていつも皆さんを温かく見守り、支えてくださったご家族や地域の方々の思いも詰まっています。この場を借りて、多くの方々への感謝の気持ちを改めて胸に刻んでください。皆さんは学校の顔であり、後輩たちの目標となる存在でした。生徒会活動では、「十人十色」のテーマのもと、「全校生徒がそれぞれの個性を輝かせ、全員が活躍できる学校」を目指して、リーダーシップを発揮してくれました。震災で苦しんでいる地域に向けて、自分たちにできることを考え、アルミ缶収集や募金活動に取り組む皆さんの姿勢は、多くの人に感動を与えました。また、全校の生徒が安心して過ごせる制服を目指して立ち上がったプロジェクトや、「学校が楽しくない、だったら自分たちの手で楽しくしよう」と発案された体育祭プロジェクトでは、仲間と力を結集して学校改革を進めてくれました。さらに、生徒会最大の行事であるこまゆみ祭では、全校生徒が得意なことを発表し、全員がその活躍を応援する姿が印象的でした。義民太鼓の胸を打つあの響き、伝統ある神楽の「奏」は、今でも心の中に残っています。探究の学習では、青木村に恩返しするため、自分たちの力で地域に貢献できるアイデアを練り上げました。自らの力で仲間と共に新しい道を切り開いた経験は、皆さんを大きく成長させました。

さて、昭和51年に本校の校歌を作詞した宮沢先生は、当時、このステージで次のようなメッセージを残されました。「青木村という土地に住む人々は、不正なことに対しては、自分の身を犠牲にしても立ち向かう強い意志を持っています。この気風、この流れをぜひ持ち続けてほしい。そして、この青木村で育ったことを誇りに思ってください。」この思いを込めて、宮沢先生は校歌の中に「自主の火 もえて 鍛えあう日の歌よ 響け」と書かれました。この言葉には、自らの意志で未来を切り開き、日々の努力を通じて自分を鍛え上げていくことの大切さが込められています。皆さんは、この宮沢先生が校歌に込めた願いを現実のものとし、新たな歴史を刻んでくれました。

今年度も私は、「凡事徹底」、つまり自分で決めた平凡なことを、誰にもできないくらい徹底してやり続ける姿勢についてお話ししてきました。心と行為はつながっています。日常の一つ一つの当たり前のことを大切に、積み重ねていくことで、自分自身が形づくられ、夢実現の道が開かれると信じています。

青木中学校は、皆さんにとって『永久(とわ)の春』、いつまでも心に残る原点です。青木中学校で学んだ誇りと経験を胸に、それぞれの道で活躍し、夢を叶えられることを心から願っています。

令和7年3月19日
青木中学校長 箕田 大輔

★青木中学校 PTA より★

青木中学校 PTA は PTA 活動の一環として学用品リユース品活動を行っています。今年度も村民の皆様方をはじめ多くの保護者の皆様にご協力頂きながら、制服、Y シャツ、鞆などたくさんのリユース品が集まりました。ありがとうございます。そして来年度も活動の継続を予定しております。

回収日、場所等につきましては村内情報端末、はつらつネットワーク、オクレンジャー等で詳細を告知していく予定です。なお、中学校では令和7年4月26日(土)に第1回地域参観日を予定しております。そこで第1回目の回収をおこなう予定です。もしよければ、ご提出よろしくお願ひいたします。ご提出にあたってのお願いですが、汚れ、損傷の少ない物であるとともに、洗濯、クリーニング等してからご提出くださいますようよろしくお願いいたします。

最後に本年度のご協力に本当に感謝しております。ありがとうございました。

令和6年度 青木中学校 PTA 会長 渡邊 真弓

【転退職員】 地域の皆様、保護者の皆様、在任中は、大変お世話になりました。

- | | | | |
|--------|--------------|--------|-------------|
| ○箕田 大輔 | 長野県総合教育センターへ | ○大久保礼子 | 松本市立筑摩野中学校へ |
| ○山下 妃世 | 上田市立南小学校へ | ○佐藤 香織 | 上田市立第四中学校へ |
| ○小池伸太郎 | 長和町立長門小学校へ | ○丸山 美恵 | 上田市立第一中学校へ |
| ○福島 緑 | 上田市立丸子中学校へ | | |

◇◇◇◇◇◇◇◇ 4月の予定 ◇◇◇◇◇◇◇◇



- | | | | |
|--------|------------------------------|--------------|--------------------|
| 4日(金) | 入学式・始業式 | | |
| 7日(月) | 生徒会入会式・部活動発足式・身体測定・給食開始・給食旬間 | | |
| 8日(火) | 避難訓練① | 9日(水) | 地区生徒会①小中合同下校 |
| 10日(木) | 1年家庭訪問(～15日) | 3年修学旅行(～12日) | |
| 14日(月) | 学校集金振替日 | | |
| 15日(火) | 3年全国学力・学習状況調査(理科/質問紙) | 18日(金) | PTA代議員会・専門委員会・総委員会 |
| 17日(木) | 3年全国学力・学習状況調査(国語/数学) | 26日(土) | 地域参観日・情報モラル講演会 |
| 21日(月) | 小中合同研修 | | PTA総会・学年 PTA |